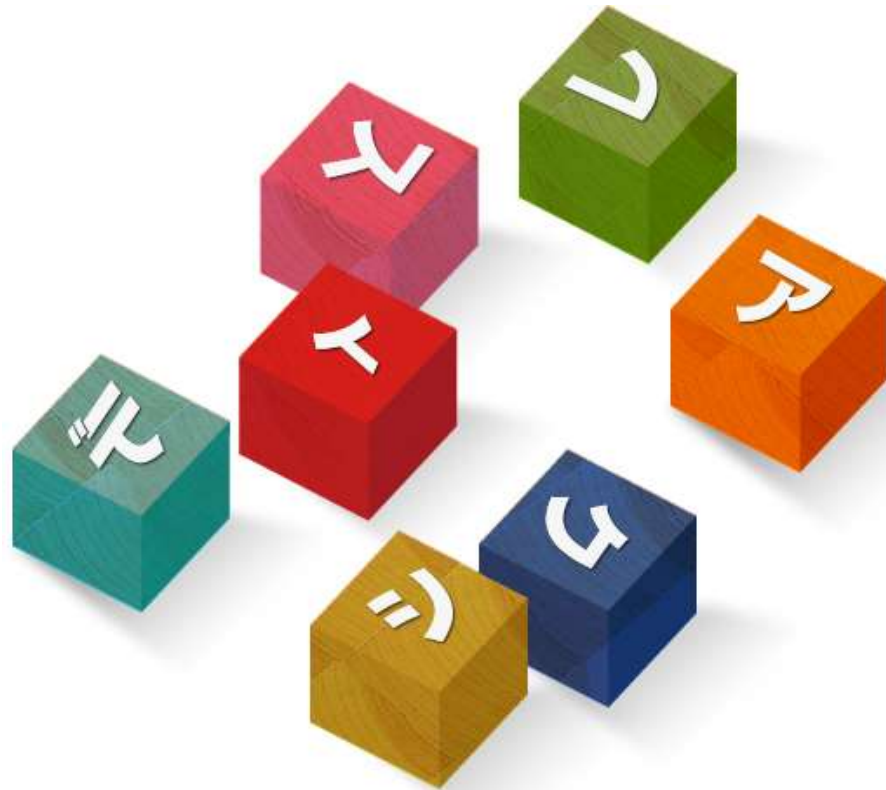


# 読み書きに困難がある人の アセスメント説明会



港区ヒューマンプラザ  
2023年11月4日

NPO法人エッジ  
藤堂栄子

# NEXT EDGE

ディスレクシア（読み書きの困難）の人たちは

**EDGE（エッジが効いている、先端）**を持っています。

同時に対応を間違えると**EDGE（崖っぷち）**に追いやられてしまいます。

本人、保護者、支援者、教育関係者そして社会の**ミカタ（見方）**を変え

**ミカタ（味方）**を増やすために社会の**啓発**、本人・保護者の**エンパワメント**、

支援者の人材育成、そしてつながるネットワークに力を入れています

読み書きが困難なディスレクシアの人たちが生き生きと暮らせる社会を目指して2001年から港区で活動しているNPOです。

## NEXT EDGEの構造



## ディスレクシアにはこんな特徴があります



こんな困難さがあるって



こんなことが大変です



こんなことをしてみると



こんな工夫をして



得意なことをいかして



こんなに生き生きと輝けるよ

# ディスレクシアとは？

- 読みの困難、その結果の書きの困難
- まるっきり読めないわけではない
- 生まれつき、治らない
- 見た目わからない
- 人口の10%いる(欧米では20%も)
- **スピード、正確さと流暢さに劣る**
- 日本語<英語
- 他にも計算障害、協調性運動障害、ADHD、感覚の鈍麻・過敏
- **不便だが、不幸ではない**

## 特徴

スピード

流暢性

正確さ

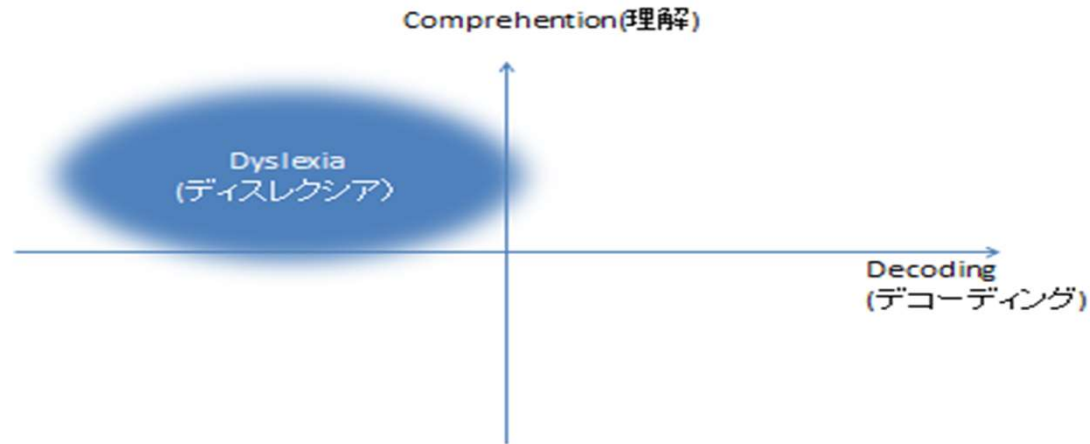
## その上

視覚認  
知

作業記  
憶

不器用  
さ

# 読めないが読解はできる



# ディスレクシアへできる対応

- 気づき⇒ 早期発見早期対応
- アセスメント ⇒ できることを伸ばして、  
困難なことを補完する
  - ⇒ 一人ひとりにあった読みやすい、わかりやすい教材や指導法、  
環境整備
  - ⇒ 合理的な配慮(調整と変更)
    - 時間延長、ICTの活用など
  - ⇒ ラーニングスタイルに合ったスキルの習得
    - タッチタイピング、マインドマッピングなど
    - 多感覚・MIを使ったアプローチ
  - ⇒ 本人のエンパワメント



# 気づき⇒ 早期発見早期対応

- 幼少期:文字に興味がない、絵本など自分のストーリーで読む、しりとりや「た」ぬきなどふとくい
- 学齢期Ⅰ:  
ひらがなの読みが不正確(特に特殊音節)  
書きがかがみ文字、似た形、似た音などと間違  
う

# 気づき⇒ 早期発見早期対応

- 学齡期 2 :

漢字の読みと意味と音が結びつかない

書く : 写し間違え、書き取りや作文で漢字が書けない、間違う

- 学齡期 3 :

漢字の一つの読みは分かるが熟語になるとわからない、音読など読みたがらない

書き写す時に不正確、作文など短い、ひらがなが多い

# 気づき⇒ 早期発見早期対応

- 学齡期4

ローマ字を覚えなない

- 学齡期5

英語:ヒアリング・スピーキングに比べてスペルや発音を覚えなない

**低次の読み<高次の読み**

**文字を読める<内容理解**

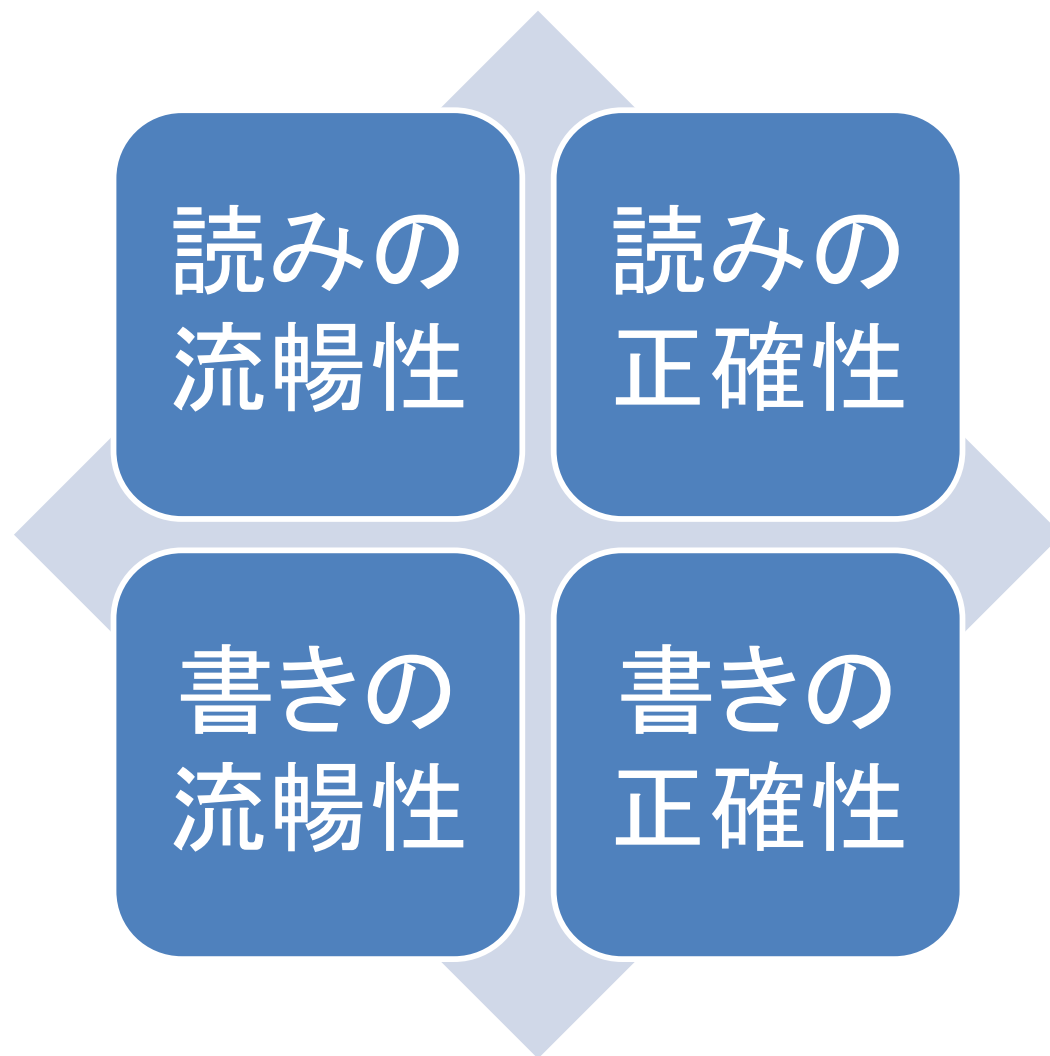
**文字の読み書き<語彙力、文章力**

# アセスメント

- おおむね知的に問題がないことを見極めて、気づいた時点でアセスメントを行うことが望ましい。現時点での同年代と比べて本人がどの程度読み書きに困難さがあるのかを**読み書きのスピード、流暢性と正確さ**を測り見る。

本人の持っている力、困難な部分と程度がわかり、これに即して、具体的な支援方法や変更と調整がわかる。また、聴いた方がわかりやすいのか、ICTなどを使ったら学びやすく表現をしやすいのかの見当がつく。

# 読み書きの困難さを知る4つの指標



# 気づき

アプリ

読み書きに関する10問で困難さへの気づきが  
簡単にできる

# 集団アセスメント

- 書き写す(スピード+正確さ)
- 黙読して内容理解、音声で聞いての内容理解  
(音声化の効果)
- 漢字の読み(正確さ)
- 漢字の書き(正確さ)
- ひらがなの読み(スピード)
- 聴写課題(正確さ)

使用検査:

URAWSS II、東京都読み書きアセスメント、河野俊寛(聴写課題)



# アセスメントでわかること

読み書きの困難があるのかどうか

—音で聞いたほうが分かり易いのか

—読むスピード、流暢さはどの程度か

—読む正確さはどの程度か

—書くスピード、流暢さはどの程度か

—書く正確さはどの程度か




さん

## 《支援や工夫の提案》

さんは以下の困難が見られました。

読みの 正確さ	読みの 流暢さ
書きの 正確さ	書きの 流暢さ

自分で読むより、読んでもらったり、  
音声で聞く方が理解ができる

	問題無し
	やや困難が見られる
	困難が見られる

### 【読みの工夫】

- ・音声読み上げ、デジタル教科書の使用
- ・分かち書き、行間や文字の拡大、フォントの変更
- ・カラーフィルタやスリットシートの使用
- ・ルビをふる、代読支援

文字から情報を得ることだけに頼るのではなく、自分の好きな分野で  
YouTubeなどから情報を得て、情報の内容を理解する方に重きを置くよ  
うにしましょう。

### 【書きの工夫】

この検査では問題はありませんでした。  
でももし書きに関して不安なことがあれば先生に相談してみてください。



## 結果のイメージ

読み書き困難さの検査結果

さん

さんは以下の困難が見られました。

読みの正確さ	読みの流暢さ
書きの正確さ	書きの流暢さ

自分で読むより、読んでもらったり、音声で聞く方が理解ができる

問題無し
やや困難が見られる
困難が見られる

《支援や工夫の提案》

【読みの工夫】


- ・ 音声読み上げ、デジタル教科書の使用
- ・ 分かち書き、行間や文字の拡大、フォントの変更
- ・ カラーフィルタやスリットシートの使用
- ・ ルビをふる、代読支援

文字から情報を得ることだけに頼るのではなく、自分の好きな分野でYouTubeなどから情報を得て、情報の内容を理解する方に重きを置くようにしましょう。



【書きの工夫】

- ・ 書き写す代わりに代筆、写真撮影、必要なものはプリント提供を依頼
- ・ タッチタイピングでの入力や音声入力を使用
- ・ 漢字は選択肢から選択
- ・ 書きづらい漢字はひらがなで記述

文字を書くことにエネルギーを使うよりも、ICTを利用することで、頭の中で考えたことを楽に表出できるよう色々試してみましょう。

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

詳しい検査や相談をご希望の方はロゴをクリックまたはQRコードから



## ① 図からわかること

以下の4項目について学年平均と比べてどの程度困難があるかを色で表示

- ・読みの正確さ: 書いてある文字を正確に読めるか
- ・読みの流暢さ: 書いてあるものをスラスラと読めるか
- ・書きの正確さ: 字を正確に書けるか
- ・書きの流暢さ: 字をすらすらと書けるか



② 自分で読むより、読んで  
もらったり、  
音声で聞く方が理解できる

エッジでは各教科書の  
音声教材BEAMを提  
供している。

問い合わせ先:

[https://www.npo-  
edge.jp/use-edge/beam/](https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/)



③ 支援や工夫の提案

困難のある分野への試して  
欲しい一般的な支援方法  
が書かれている。  
個人個人で有効な支援は  
異なるので、色々試してみ  
て本人にあった方法を探し  
て欲しい

# アセスメントの結果のでできること

クリーム色や赤があったら

- 本人にあった学習方法の方向性が分かる
- 家庭や塾、家庭教師、放課後等児童デイサービスなどでできる工夫を始められる
- 学校へ相談をして、教室の中でできる指導法、支援法、教材の工夫などを始めるためのヒントがある

# アセスメントの結果でできること

赤があったら

- 学校と相談を始める
- より詳しい具体的な状況を知り、「合理的な配慮」を受けるために検査・アセスメントを受けることができる
- 特別支援教室などでの対応に関しては教育センターへ相談をする

# アセスメントの結果を受けて

- 本人と結果を分かち合い
- 提案されている方法を使ってみて
- 効果が表れるものを家庭での学習に使用
- 学校や塾、家庭教師などに同様な方法を提案する
- 合理的な配慮を必要に応じて施す



# 合理的な配慮

- アセスメントの結果の数字は根拠となりうる
- 本人の意向の確認
- 日頃の学習や授業などで行ったうえで試験などでも同等にして「評価」する
- あくまでも本質を変えない変更と調整

## できること

- 日頃の授業：代読や代筆、読みやすい教材、課題や宿題の質と量の変更と調整など
- 試験：時間延長、ルビをふる、代読や音声で提供、ICTの使用、別室受験など

# 学び方のビュツフェ

- 読みやすい
- 内容理解ができる
- 書きやすい
- 考えたことをまとめて表す方法
- ICTの活用
- 漢字の覚え方
- 英語の取り組み方

# RTI (response to intervention)

- 一人一人のできることや困難さに即してニーズに合った支援ができるように
- 支援をして効果があれば「合理的」
- 選択肢を増やす

例: 読み上げる、音声化、口頭試問、選択式

色のシート、フォントを変えるなど

時間延長

様々な漢字の覚え方

板書の代わりにプリント⇒聞くことに集中

ICTの活用

# 読みやすくする

- 紙の質、色
- 文字のフォント(UDデジタル教科書体)
- サイズ、色(色のシートなど)
- 行間、レイアウト
- 読み上げなど音声化
- ICTの活用

# 書くことを補う

- ひらがな、漢字の覚え方
- 筆記用具の工夫、大きめの枠など
- ノートテーカー
- 板書の工夫、写真にとる、データで渡す
- ICTの活用

# ICTの活用

読む(内容理解)

- デジタル教科書
- BEAMなど音声化された教科書



BEAMとは

書く

- 入力方法(音声入力、タッチタイピングなど)

# 学び方の工夫

文字からだけではなく

- 映像で
- 音で
- 体験で
- 伝える機器や道具 (AT-アシスティブテクノロジー、ICT)

# 英語の学び方

コミュニケーションツールとして

- ヒアリング・スピーキング
- フォニックスの習得
- 語彙の獲得
- 文法の理解



# スタディースキル

- タッチタイピング
  - 手元を見ずに指先の動きで打ち込む
  - 文字や綴りを想起できなくても考えている速度で文字にすることができる
  - 漢字などでは判別できればよい
- マインドマッピング
  - 考えをまとめる
  - 出来事を覚える
  - 作文などのもと

本日アセスメントを受けていない方へ  
お申込みはまだ間に合います!

11月11日(土)

9:30~

10:45~

締切:11月5日(日)



<https://reserve.peraichi.com/r/ab0fea18>

11月18日(土)

14:00~

15:30~

締切:11月12日(日)



<https://reserve.peraichi.com/r/aa186c2c>

# エッジの事業ご紹介

## エッジの個別相談、アセスメント

<https://www.npo-edge.jp/use-edge/consultation/>

相談は藤堂栄子に対応させていただきます。  
読み書きのアセスメントをすることで、どの部分がどの程度困難か客観的に測り、適切な支援に結びつきます



## LSA(学習支援員)養成講座

<https://www.npo-edge.jp/support/lsa/>

保護者の方にも大変好評な講座です。お子様の理解が深まり、支援の方法が具体的に学べます。



## 読み書き困難指導・支援講座

<https://www.npo-edge.jp/support/yomikaki/>

読み書きの指導・支援に特化したeラーニング講座です。



## 音声教材BEAM

<https://www.npo-edge.jp/beam/>

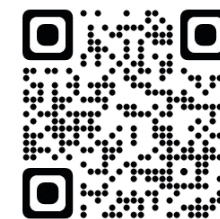
小・中・高校で利用されている教科書を読み上げた音声です。文字を読むより耳で聞く方が内容を理解できる生徒に好評です。提供している教科書についてはお問い合わせください。無償。



## エッジのメールマガジン

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/ff.php?id=npoedge&task=regist>

月に一回メールマガジンを配信し、ディスレクシアのお役立ち情報や、エッジの講座情報などをお届けします。思わずくすっと笑っちゃうこともある、藤堂栄子の“メスタの独り言”が好評です。



## エッジのPeatixページ

<https://npoedge.peatix.com/>

エッジで3か月に一回ディスレクシアセミナーを開催、他にも講座説明会やLSA(学習支援員)養成講座の単発受講など、不定期で多数のオンライン講座を開催しています。



## ご支援のお願い

<https://www.npo-edge.jp/support-us/>

エッジのこれまでの活動は皆様のご支援、お力添えによって実施、継続をすることができました。今後も活動をより多くの方に届けられますように、皆様のご寄付をお願いいたします。



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# アンケートのご協力をお願いいたします

集団アセスメントは読み書きに困難があることに気付いていない、  
静かに困っている児童生徒をいち早く見つけて適切な支援を受けられるよう  
2022年から始めました。

今後は日本全国で開催していきます。

より良いものにするため、  
皆様のご意見をお待ちしています。

<https://forms.gle/8ZnoBPK1dzQ1rijc7>

